

第13章 宅地造成計画の設計(宅地の模様替え, 2次造成)

13.1 宅地の設計概要

1. 宅地の現況

(1) 図面. 13-1 に示す申請地(A号地)現況図

既成団地内のA号地は, それぞれ幅員6.0mの二方向の公道に面し, その公道にのり面(勾配1:1.8, H=2.0m)で接しています。

(2) 宅地の地盤の土質

砂質土の第2種(K₂)地盤とします。

2. 宅地の面積

図面. 13-2に示す申請地(A号地)の求積図を作成します。

3. 計画の概要

(1) 申請地(A号地)造成計画平面図, 擁壁展開図(図面. 13-3)

宅地内の一角にガレージ及び出入口(階段)を設け, その他の外周に擁壁を構築するとともに, 宅地雨水排水溝を併せて設置します。

(2) 設置する構造物

宅地造成工事において, 表. 13-1~表. 13-3 に示す構造物を設置します。

表. 13-1. L型鉄筋コンクリート擁壁

標準擁壁(タイプ)	延長
H=1.00~2.25m(No.423使用)	9.21 m
H=1.00~2.00m(No.422使用)	15.40 m
H=0.00~1.00m(No.421使用)	13.00 m

表. 13-2. 重力式コンクリート擁壁

標準擁壁(タイプ)	延長
H=0.00~1.00m(No.521使用)	2.50 m

表. 13-3. 雨水排水溝

U型水路	180×180	L=4.1m
会 所 枳	300×300	1箇所
縦渠(VP管)	φ200	1箇所

13.2 宅地造成計画設計図例

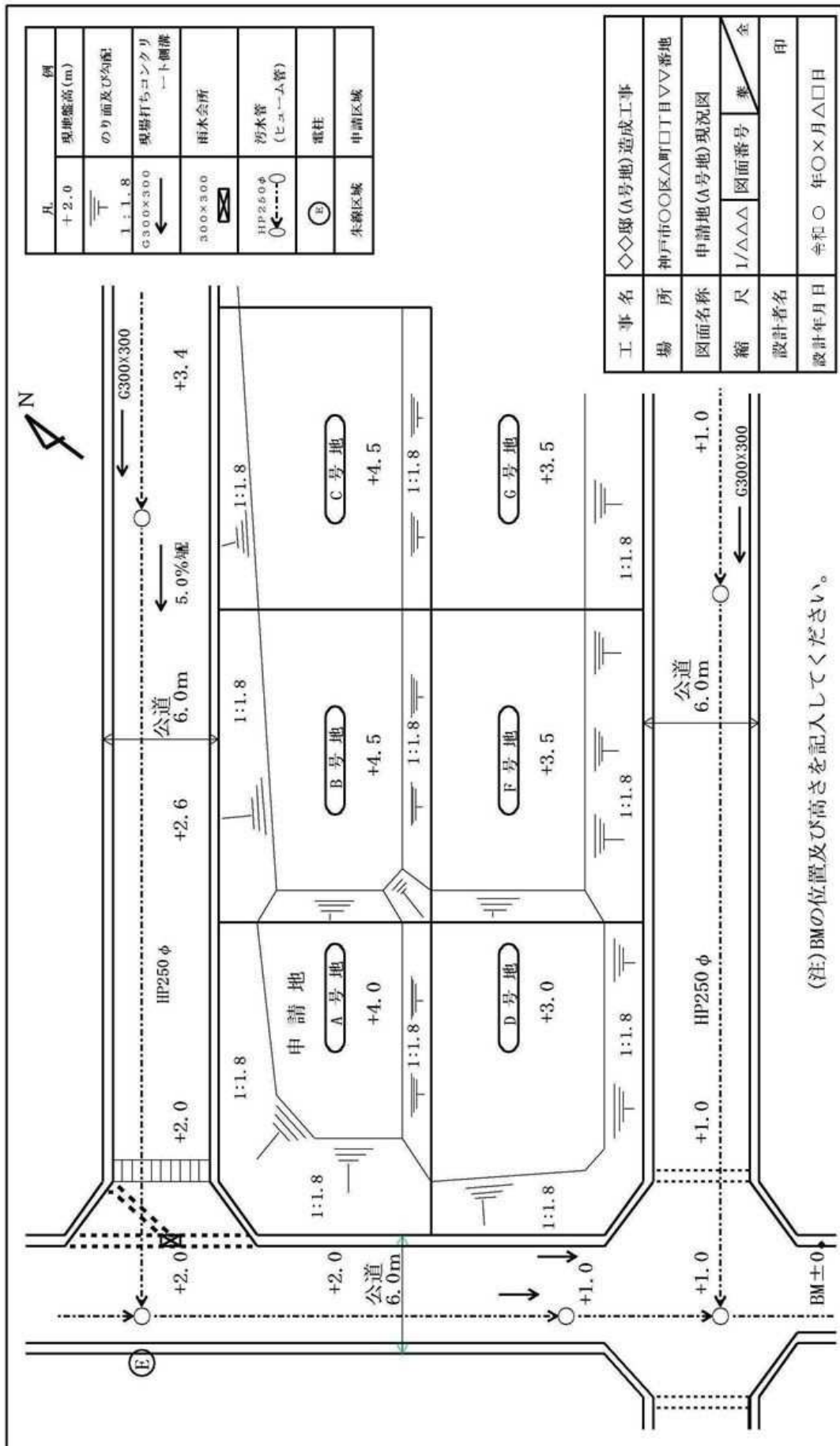
1. 宅地造成計画設計図

宅地造成工事の許可申請にあたっては、本章の宅地の設計概要に基づいて作成された設計図例(図面.13-1, 図面.13-2, 図面.13-3)を参照し、宅地造成計画設計図を作成するとともに、造成地の位置図、排水施設構造図、擁壁構造図等を作成します。

2. 擁壁の設計計算書

本例のように、擁壁に標準擁壁を使用する場合は、擁壁の設計計算書の提出は不要ですが、それ以外の場合は、省令によりその提出が義務づけられている擁壁の設計計算書及び安定計算書を提出しなければなりません。

図面.13-1. 申請地(A号地)現況図



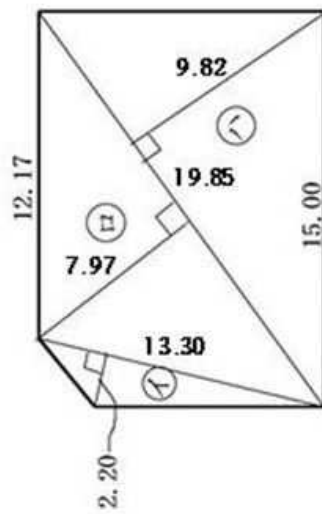
凡	例
+2.0	現地盛高(m)
≡	のり面及び勾配
1:1.8	現場打ちコンクリート側溝
G300x300	雨水会所
300x300	汚水管 (ヒューム管)
HP250φ	電柱
○←---○	申請区域
⊙	朱線区域

工事名	◇◇邸(A号地)造成工事		
場所	神戸市○○区△町□THVV番地		
図面名称	申請地(A号地)現況図		
縮尺	1/△△△	図面番号	全
設計者名	印		
設計年月日	令和○年○月△□日		

(注)BMの位置及び高さを記入してください。

図面.13-2. 申請地(A号地)求積図

申請地(A号地)求積図 S=1/△△△



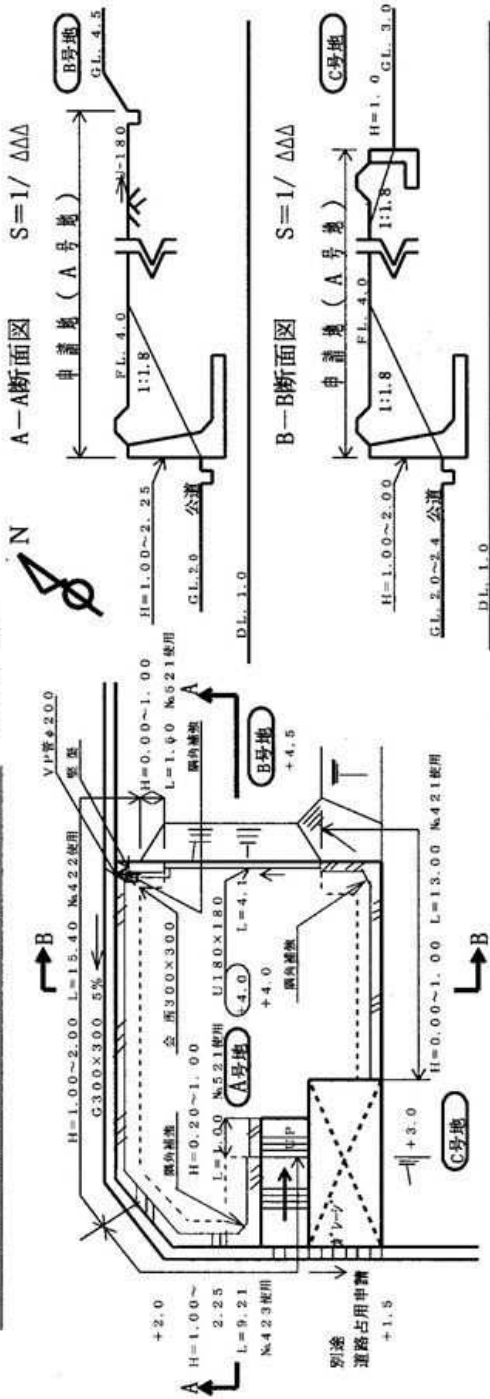
申請地(A号地)面積計算表

記号	底辺(m)×高さ(m)	面積(m ²)
イ	2.20 × 13.30	29.2600
ロ	7.97 × 19.85	158.2045
ハ	9.82 × 19.85	194.9270
倍面積 ①		382.3915
A号地面積: ②=①×1/2		② 191.19575
申請面積		191.19

工事名	◇◇邸(A号地)造成工事	
場所	神戸市○○区△町□□丁目△番地	
図面名称	申請地(A号地)求積図	
縮尺	1/△△△	図面番号 全
設計者名	印	
設計年月日	令和○年○月△□日	

図面.13-3. 申請地 (A号地) 造成計画平面図・擁壁展開図

申請地 (A号地) 造成計画平面図 S=1/○○○

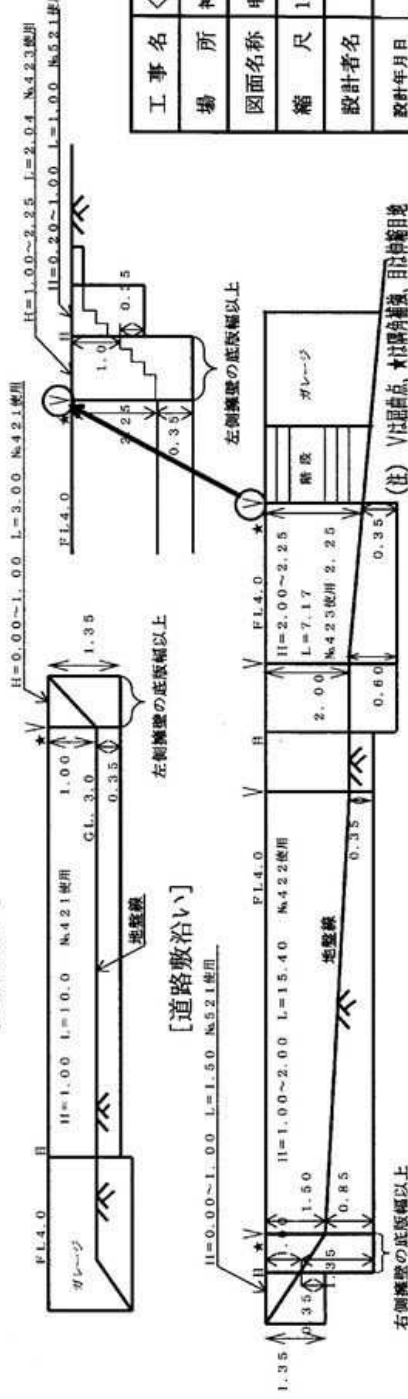


凡	例
+2.0	現地盤高(m)
(+4.0)	計画地盤高(m)
ZZZZ	コンクリート擁壁
▽	のり面及び高配
1:1.8	U型水路
U180×180	整渠
VPφ200	雨水所
300×300	現場打ちコンクリート側溝
G300×30	盛土
←	切土
朱線区域	申請区域

(注) 新設構造物は、着色すること。

擁壁展開図 H=1/▽▽▽, V=1/☆☆☆

[C号地沿い]



(注) Vは冠点、☆は隣接地、▽は特種用地

工事名	◇◇版(A号地)造成工事		
場所	神戸市○○区△町□丁目▽番地		
図面名称	申請地(A号地)造成計画・擁壁展開図		
縮尺	1/△△△	図面番号	全
設計者名	印		
設計年月日	令和○	年○	月○日